

< 川崎市：物流車の経路変更社会実験 >

施策名	物流車の経路変更社会実験
取り組みの背景 地域の交通環境問題 行政・市民ニーズ 交通基盤シーズ など	背景 1：川崎市東扇島・千鳥は倉庫業，流通業，製造業など約 110 社，約 12,000 人が就業 背景 2：朝夕の通勤時間帯に国道 132 号が渋滞 背景 3：川崎市臨海部の大気汚染が深刻
目的・ねらい 目的・ねらい 対象交通 など	● 目的・ねらい：交通混雑の改善，道路沿道環境の改善 ● 対象交通：産業道路，国道 132 号線の塩浜交差点，夜光交差点を通過する物流車両
取り組みの経緯 経緯・熟度 など	（委員会経過） 平成 6 年 10 月 東扇島・千鳥地区交通環境改善連絡協議会第 1 回準備会開催 平成 7 年 3 月 東扇島・千鳥地区交通環境改善連絡協議会第 2 回準備会開催 平成 9 年 7 月 東扇島・千鳥地区交通環境改善連絡協議会の設立，通勤時を対象とした社会実験実施 平成 12 年 2 月 物流車を対象とした社会実験実施
主体・広報・費用 実施主体 検討組織 広報スケジュール 費用負担 など	● 実施主体：東扇島・千鳥地区交通環境改善連絡協議会 ● 検討組織：東扇島・千鳥地区の 113 社，横浜国道工事事務所，関東運輸局，神奈川県警，神奈川県他行政機関 ● 広報：横断幕掲出，告知チラシの作成 ● 費用負担：調査費用：公健協，事務局：川崎市

実施概要	●対象地域：川崎市臨海部（東扇島・千鳥地区）
対象地域 実施日時 施策内容 など	●実施日時：平成 11 年度 ●施策内容： 大型貨物車両運行事業所 26 社 2800 台 4 日間 産業道路，国道 132 号通過車両へ高速湾岸線利用のための高速券付与
効果測定内容	●効果測定内容：交差点交通量調査，走行速度調査，事業所アンケート調査
測定内容 効果把握 など	●効果把握結果： 延べ 2769 台の参加（2.5t 以上の普通貨物車 60% 特種車 30%） 産業道路の交通量の減少 アンケート「停止回数の減少」「走行速度の向上」「所要時間の短縮」 渋滞緩和，沿道環境対策の効果ありと 85%回答
取組上の課題	高速料金の負担
合意形成 費用負担 など	
その他特記事項	東扇島・千鳥地区交通環境改善連絡協議会は，現在も存続し，活動を継続中。
今後の方向性 地域指定 等	

以上

都道府県市名 : 神奈川県川崎市
 担当部局名 : 環境局公害部自動車対策課